【専門分野】

科目名	生活援助技術Ⅱ （生活行動を整える技術：食事・排泄）	講師名	専任教員	学年	1	履修期	第１学期
単　位	１単位						
時間数	３０時間						
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	対象の健康状態に応じた食事・排泄の意義と援助の必要性と方法を理解し、食生活・排泄を整えるための技術を習得する。						
授業科目目標	１．食事援助の基礎知識、対象に応じた食事援助方法が理解できる。 ２．排泄援助の基礎知識、対象に応じた排泄援助方法が理解でき、基本技術を習得できる。 ３．排泄障害時の援助方法が理解でき、基本技術を習得できる。						
授業計画	食生活の援助 １～２回：食事援助の基礎知識 １）食事の意義 ２）健康時の食生活 ３）食事、栄養状態、摂食嚥下能力、摂食行動のアセスメント ４）健康障害時の食生活 ３回：食事援助の実際 １）食事介助の方法 ４回：経口摂取が可能な患者の食事介助の実際 ５回：非経口的栄養摂取の援助 排泄の援助 ６回：排泄援助の基礎知識 １）排泄の意義 ２）排泄機能とメカニズム ３）排泄行動のアセスメント ７回：自然排泄を促す援助 １）トイレにおける排泄介助 ２）床上排泄の援助（尿器・便器、おむつの使用） ８～９回：床上排泄の援助の実際（尿器・便器の使用） 10 回：床上排泄の援助の実際（おむつ交換） 11 回：排泄障害時の援助 １）導尿、持続的導尿　２）浣腸　３）摘便 12～13 回：排泄障害時の援助の実際 １）一時導尿（女性） 14～15 回：排泄障害時の援助の実際　排便を促す援助 １）摘便　２）浣腸 15 回：終了試験	講義 演習 講義 講義 講義 講義 演習 演習 講義 演習 演習						
評価方法	筆記試験						
テキスト	１．系統看護学講座　専門分野　基礎看護学［３］基礎看護学技術Ⅱ，医学書院. ２．竹尾惠子他：看護技術プラクティス，第４版，学研.						
学生へのメッセージ	栄養、排泄に関する技術の習得過程では、身体的、精神的、社会的側面から対象者を捉える観察能力が求められます。更に、身体侵襲を伴う導尿は、人体の構造・機能に関わる知識を土台とする正確性・安全性を必要とする技術です。特に校内実習にあたっては既習学習内容をしっかりと復習し、主体的に取り組みましょう。 【関連科目】解剖生理学Ⅰ・Ⅳ、共通基本技術Ⅱ						